

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	個々の能力に応じた日常生活を尊重し、日課の散歩や、食事の準備など残存機能を大切にした支援を行う。	今までの経験を生かし、食事の準備、洗濯干しや野菜づくりなどを役割として「役にたっている」と思える様な働きがけをしていく。	12ヶ月
2	19	○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、ともに本人を支えていく関係を築いている。	本人と家族の絆を大切にしながら双方の思いを反映させた支援をする。	面会時や電話などで、家族にこまめに利用者の様子を伝え、家族に意見を求めながら対応を相談している。また外出や外泊など気軽に話せるようお話ししていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。